

想定した品目

いんげん(半促成)

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
いんげん(半促成)	人 2	いんげん半促成	a 10
		経営耕地面積 水田 190 畑 10	
経営目標		1 農業総収入 1,112 千円 2 農業経営費 830 千円 3 農業所得 282 千円	4 1日当たり農業所得 3,865 円 5 1人当たり年間労働時間 292 時間

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	ビニールハウス (ハウス本体工事、二重カーテン、灌水チューブ込み)	1	連棟標準型(AP):1000㎡	1	千円 5,948	年 8	千円 372
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	3,240	24	135
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,080	24	45
	計				10,268		552
農機具	トラクター	1	20PS	1	1,817	7	130
	動力噴霧機	1	可搬式(5MPa)	1	213	7	15
	管理機	1	6.2PS	1	200	7	14
	トラック	1	軽トラック	1	917	4	115
	計				3,146		274

3. 技術体系(いんげん半促成)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(本ほ) 耕うん整地	耕起整地	1月中旬	トラクター	1	4	4	堆肥 2t 石灰質資材 100kg リン酸質資材 40kg	深耕及び有機質の施用 pH5.5~6.5に矯正する
保温施設組立て	ビニール張り	1月下旬	トラック	4	9	36	ビニール式	
施肥	基肥施用	2月上旬	トラクター 管理機	1	4	4	N 16kg P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 20kg K <sub>2</sub> O 16kg	全量基肥 全層施肥
定植準備	うね立て 配管 マルチ	2月上旬		1	3	3		
				2	3	6		
				2	3	6		
は種		2月中旬	トラック	2	6	12	種子量 10000粒(5袋)	栽植密度(1条植え) うね幅80cm×株間35cm 10a当たり 3,570株 2~3粒/1穴
間引き誘引		3月中旬 ~3月下旬		2	17	34		本葉2~3枚頃、生育の良いものを1本残す。
支柱立て		3月中旬 ~5月下旬		2	8	16	支柱0.9m 833本 テープ 2,500m	
温度管理	保温、換気	3月上旬 ~5月下旬		1	21	21		昼間 20~25℃ 夜間 13℃ (結莢最低気温)
かん水		2月下旬 ~5月中旬		1	2	2		乾燥時にはかん水を行う
病害虫防除	薬剤散布 耕種的防除	2月下旬 ~5月中旬	動力噴霧機	2	5	10		県病害虫防除基準による
収穫出荷		4月上旬 ~5月下旬	トラック	2	205	410		若莢で収穫する
後かたづけ	ほ場環境浄化	6月上旬	トラック	2	10	20		
計						584		

4. 品目の作付体系(○被覆, △定植, □収穫)

品目(作型)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
いんげん(半促成)	○	△		□								

